

第12回 ESD カフェ Bt. Brinjal: 政府・NGO・農民間の対話にみる ESD
インドにおける遺伝子組み換えのナスの導入をめぐる

昨年、インド政府によって遺伝子組み換え（GMO）のナスをアメリカのアグロビジネス企業から導入することが計画されました。GMO

ナス導入をめくり、政府と NGO、農民が激しく対立しました。

インド環境教育センター（CEE）では、これら関係者の対話の場を作り、GMO ナスの導入についてのそれぞれの意見を引き出していきました。その結果、GMO のナスの導入案は廃止になりました。

「この合意形成のプロセスは、関係者にとっての学びのプロセスであり、まさに ESD だった」と語る、ラメッシュさん。今回の ESD カフェでは、ラメッシュさんをお迎えして、GMO ナス導入における対話の様子を伺い、一体どういった点が ESD なのかについてお話を伺います。

日 時：2010 年 12 月 13 日（月） 17：30～20：30

場 所：池袋キャンパス 12 号館第 2 会議室

講 師：Ramesh Savalia 氏（インド環境教育センター プログラムコーディネーター、AGEP ネットワークメンバー）

主 催：ESD - J

共 催：ESD 研究センター

協 力：生物多様性条約市民ネットワーク「開発×生物多様性」作業部会

協 賛：地球環境基金

対 象：一般、学生

申 込：ESD-JHP にて（<http://www.esd-j.org>） 資料代として 500 円いただきます。

問合せ先：ESD 研究センター（内線：2686）